

中国・四国地域における水稲の現状



令和7年5月

中国四国農政局 生産部 生産振興課

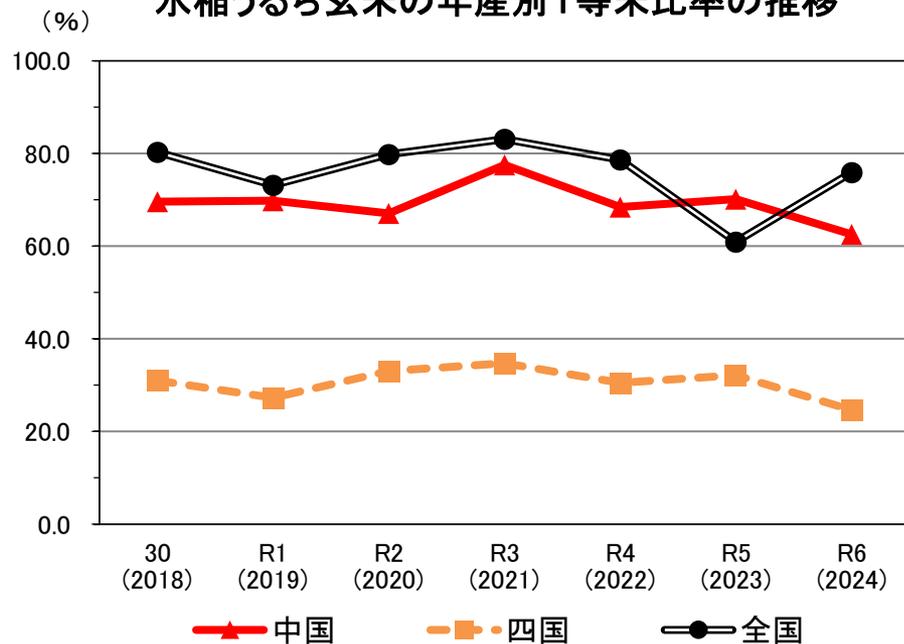
1 生産状況

- 令和6年産の中国・四国地域の水稲作付面積は、約13.6万haで、令和6年産の全国に占める割合は約1割。
地域別には、中国地域が約9.3万ha、四国地域が約4.3万ha。
- 令和6年産の中国・四国地域の水稲収穫量は、約68.2万tで、令和6年産の全国に占める割合は約1割。
地域別には、中国地域が約47.7万t、四国地域が約20.5万t。
- 令和6年産の水稲の作況は、中国地域、四国地域ともに「平年並み」であった。
- 令和6年産の水稲うるち玄米の1等比率(令和7年4月30日現在)は、中国地域が62.5%(前年比↓)、四国地域が24.6%(前年比↓)であった。

<令和6年産>

	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量 (t)	作況 指数	1等比率 (%)
鳥取県	11,800	502	59,200	99	51.0
島根県	15,900	505	80,300	100	54.0
岡山県	28,000	510	142,800	99	56.7
広島県	20,600	526	108,400	101	78.2
山口県	16,800	513	86,200	103	71.5
中国計	93,100	512	476,900	101	62.5
徳島県	9,890	470	46,500	100	33.2
香川県	9,820	491	48,200	100	19.5
愛媛県	12,700	502	63,800	102	31.0
高知県	10,300	453	46,700	100	14.6
四国計	42,700	481	205,200	101	24.6
中国四国計	135,800	502	682,100	101	52.7
全国計	1,359,000	540	7,345,000	101	75.9

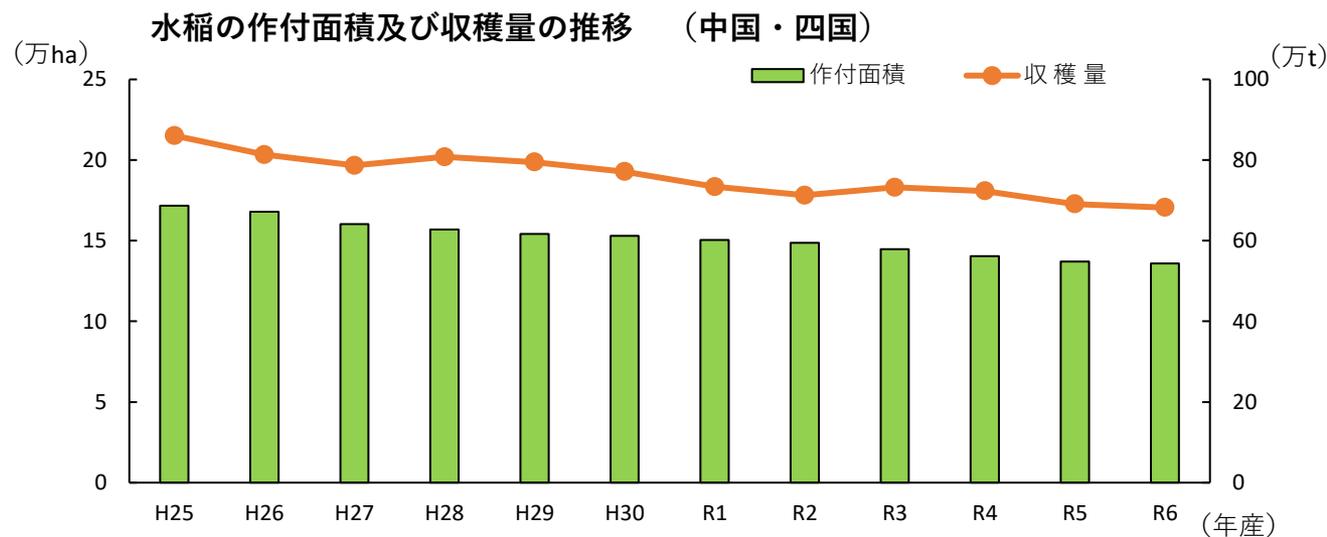
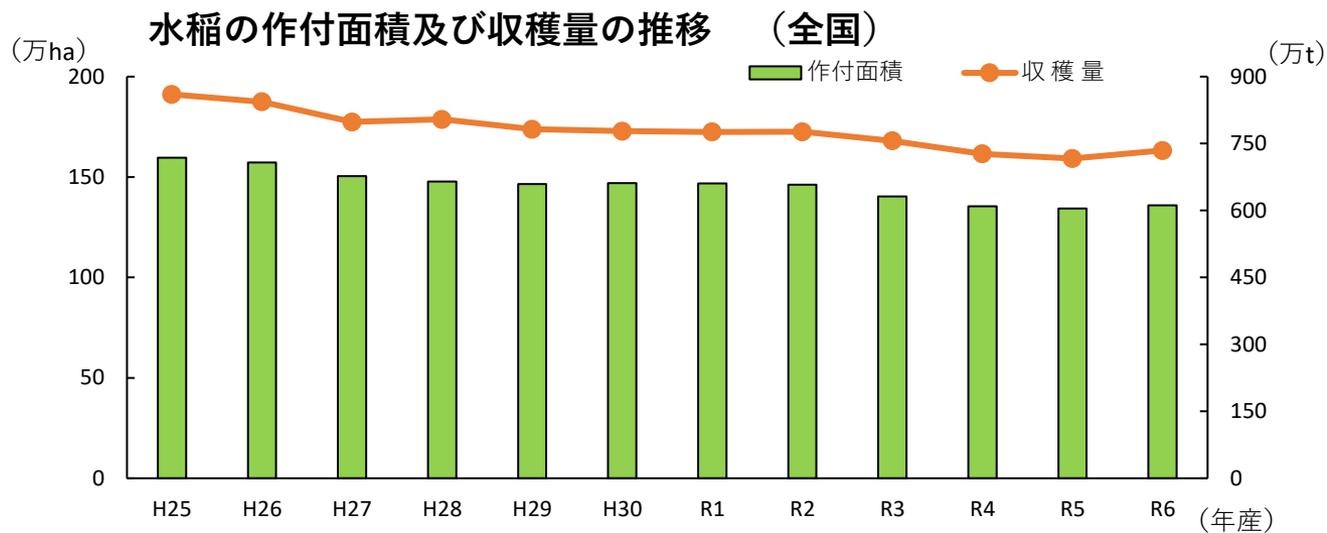
水稲うるち玄米の年産別1等米比率の推移



※令和6年産1等比率は、令和7年4月30日時点の速報値

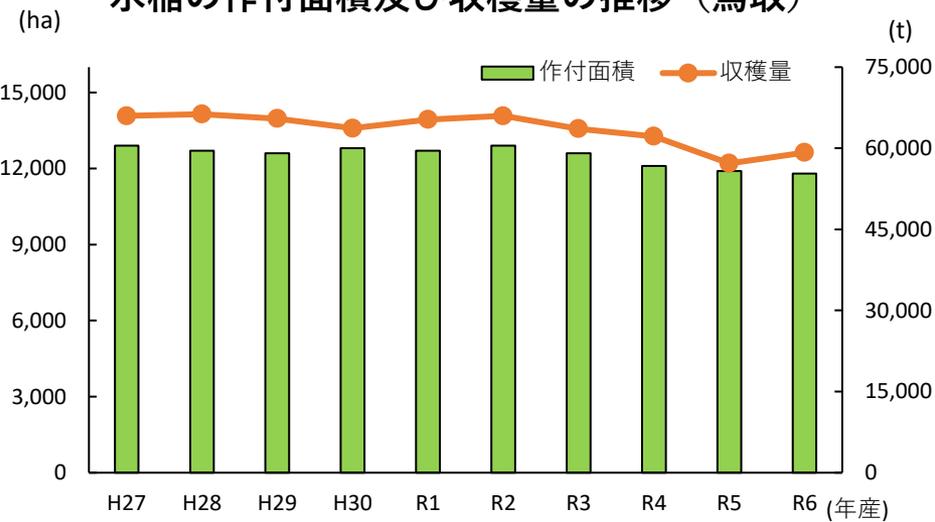
資料：農林水産省統計部「作物統計」(令和7年2月28日公表)及び農産局穀物課「米の農産物検査結果」(令和7年4月30日公表)

2-1 水稲の作付面積及び収穫量の推移（全国、中国四国）

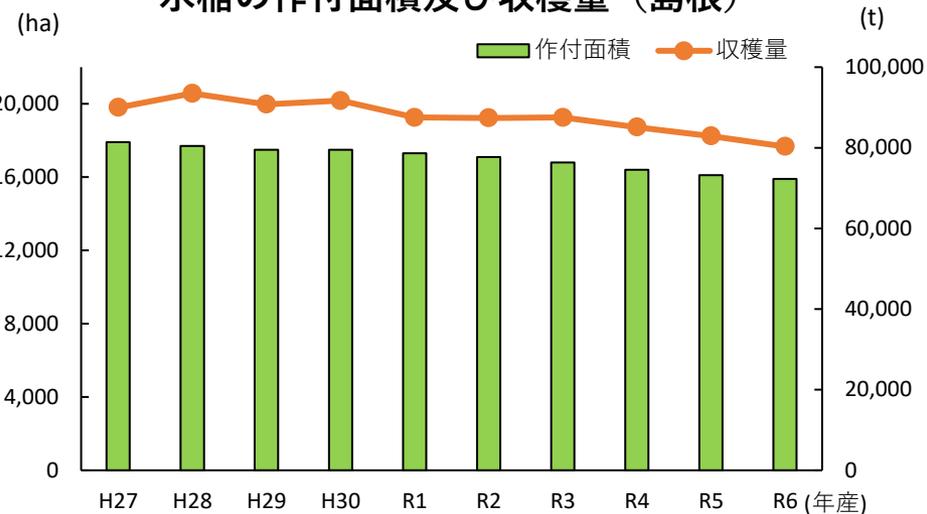


2-2 水稲の作付面積及び収穫量の推移（鳥取県、島根県、岡山県）

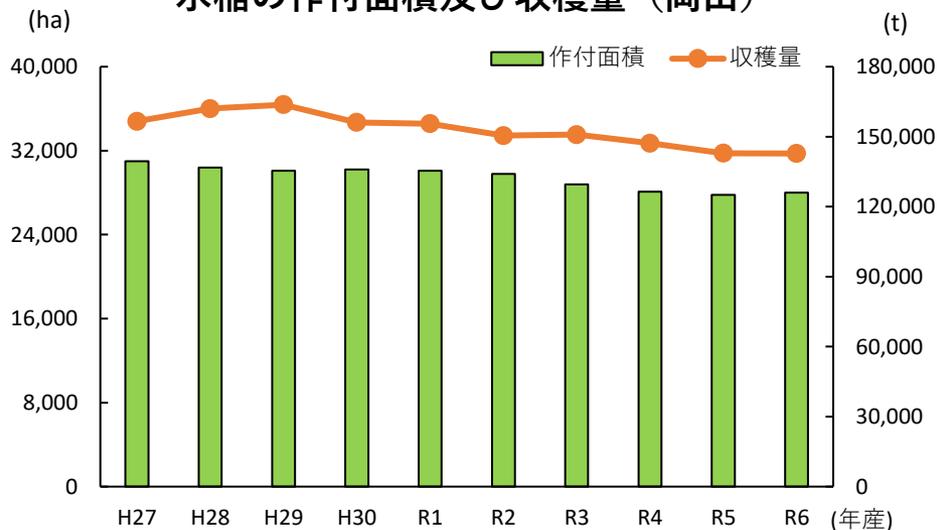
水稲の作付面積及び収穫量の推移（鳥取）



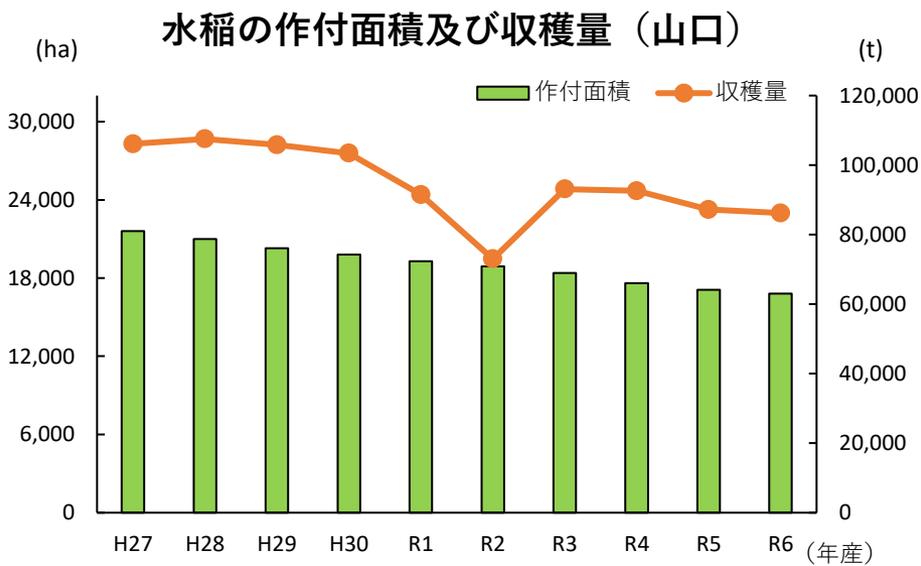
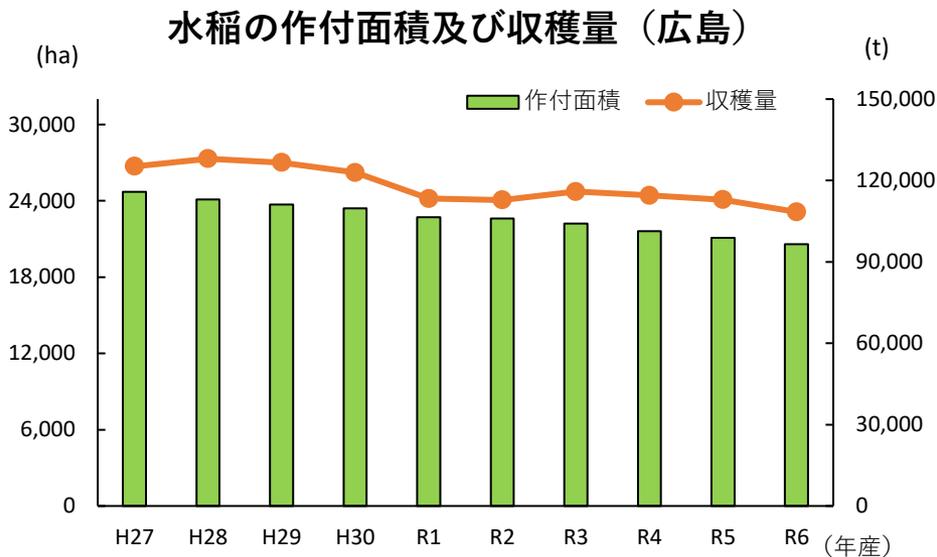
水稲の作付面積及び収穫量の推移（島根）



水稲の作付面積及び収穫量の推移（岡山）

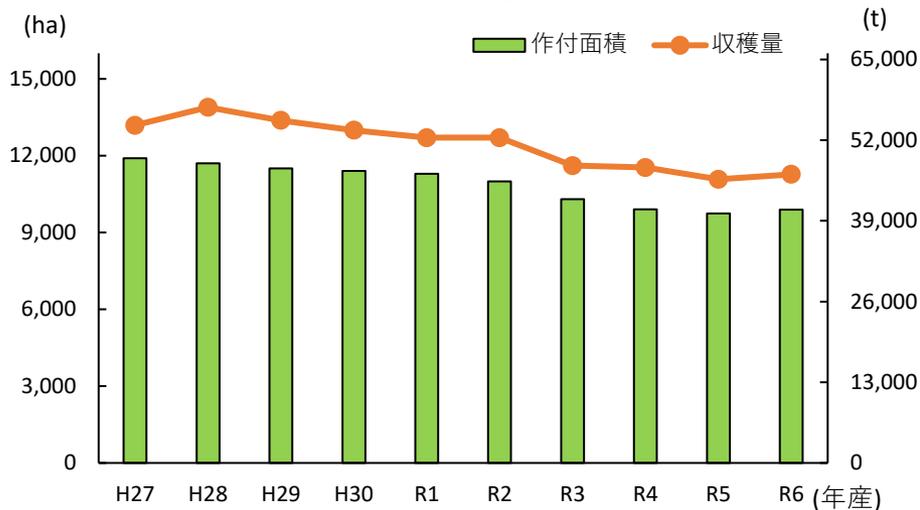


2 - 3 水稲の作付面積及び収穫量の推移（広島県、山口県）

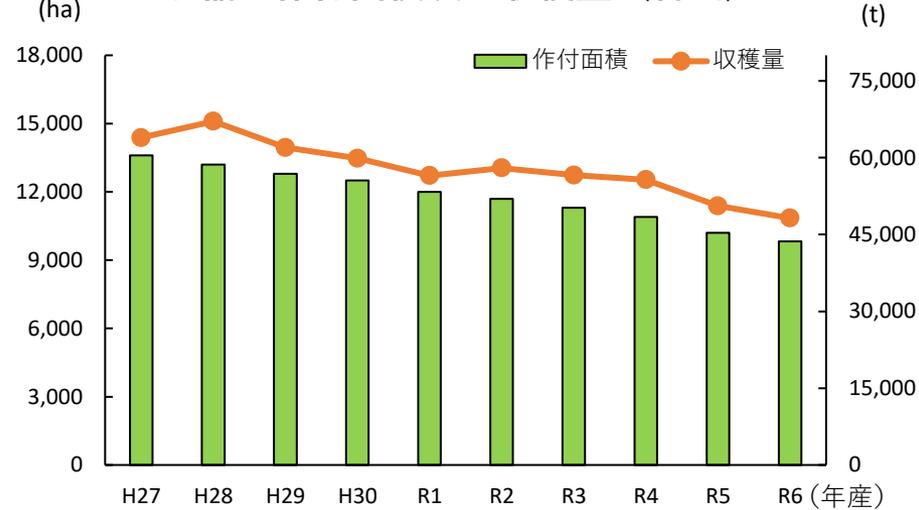


2 - 4 水稲の作付面積及び収穫量の推移 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

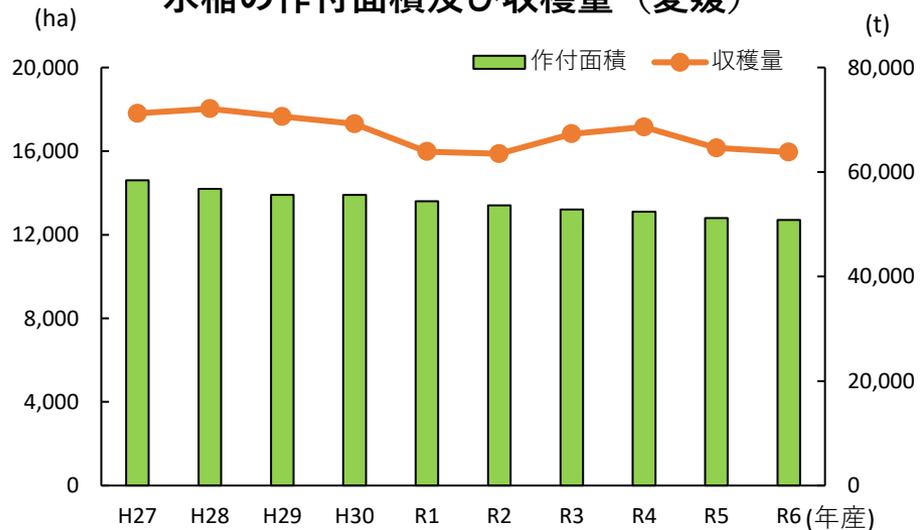
水稲の作付面積及び収穫量 (徳島)



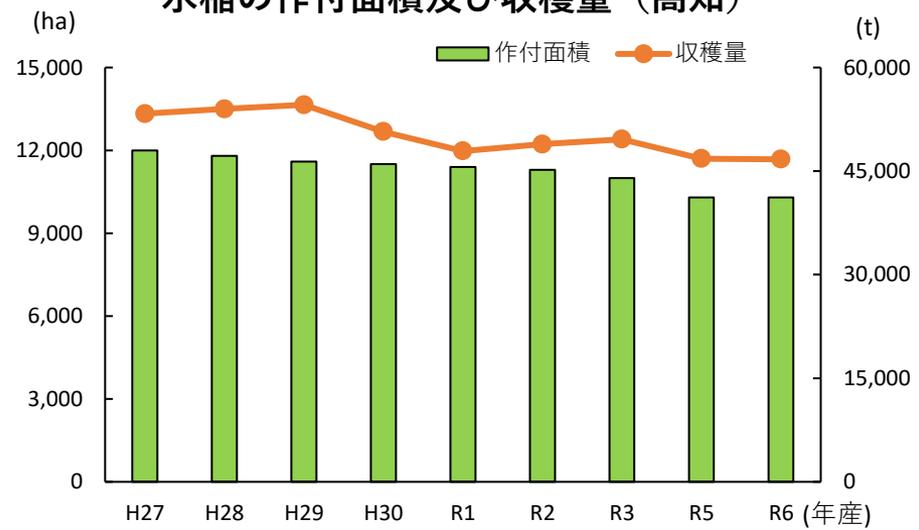
水稲の作付面積及び収穫量 (香川)



水稲の作付面積及び収穫量 (愛媛)

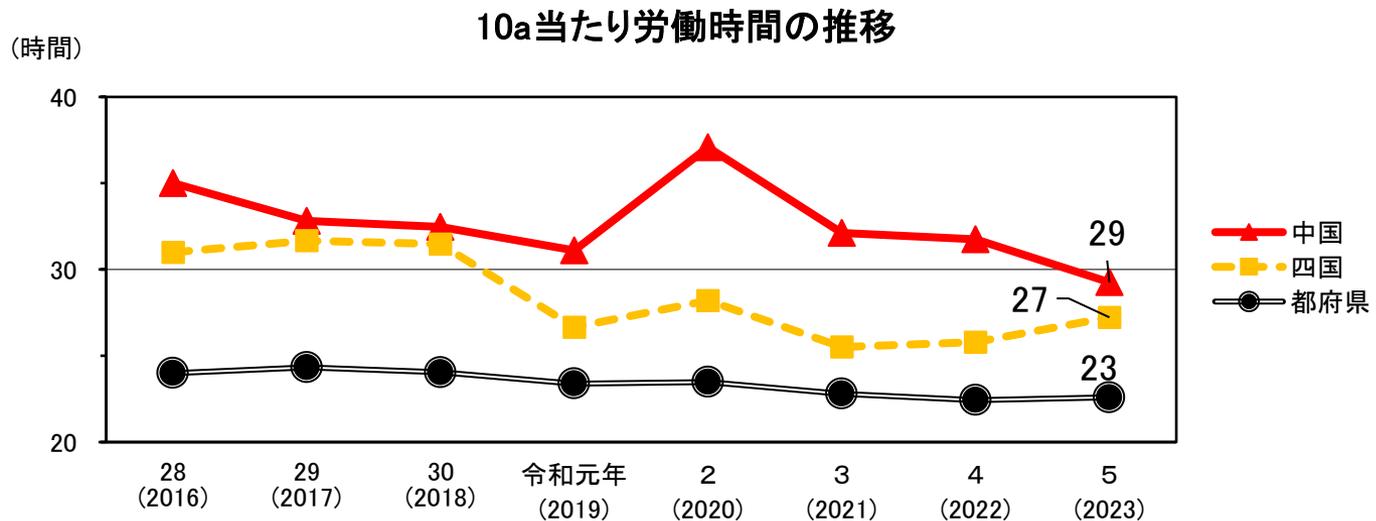
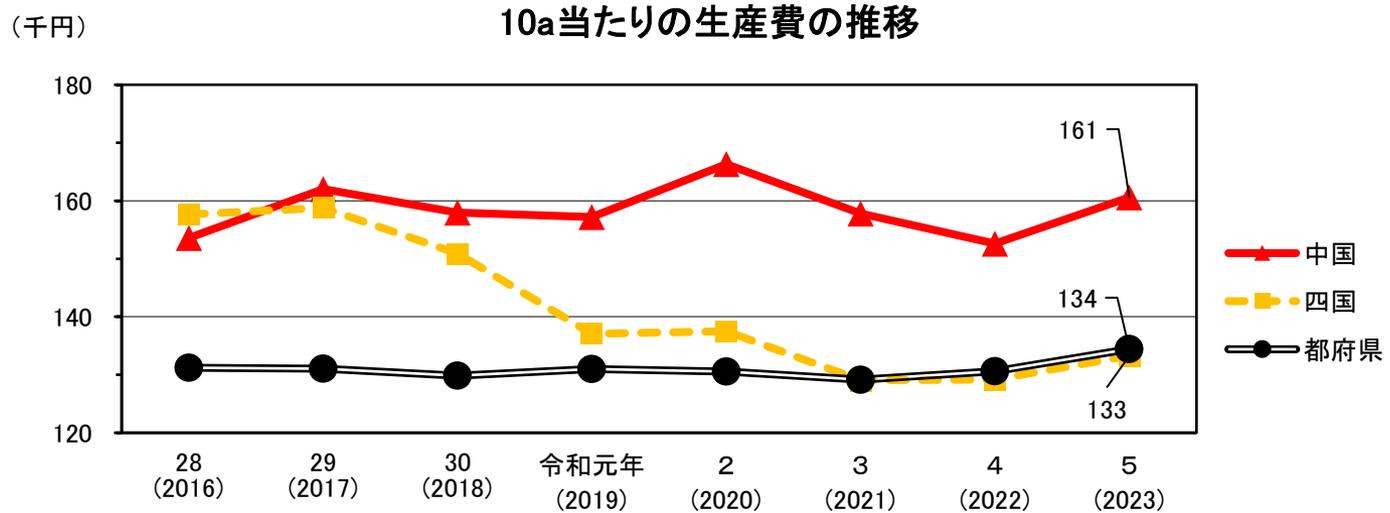


水稲の作付面積及び収穫量 (高知)



3 生産費及び労働時間

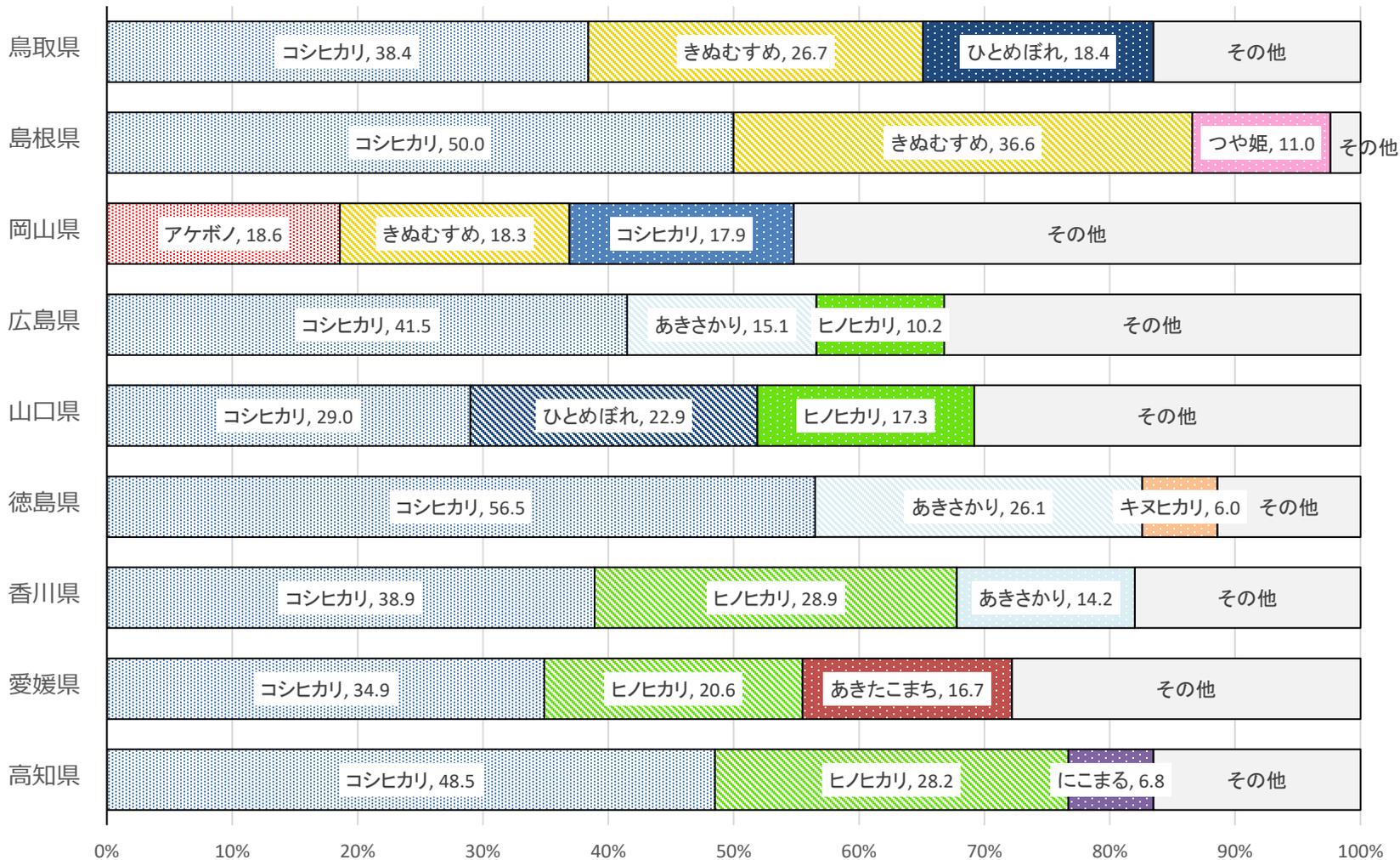
- 令和5年産の中国・四国地域における水稲の10a当たり生産費は、中国地域が160,615円、四国地域が133,266円となっており、中国地域では都府県に比べ約1.2倍高い。内訳をみると、農機具費が1.5倍、労働費が1.3倍高くなっている。
- 令和5年産の中国・四国地域における水稲の10a当たり労働時間は、中国地域が約29時間、四国地域が約27時間と、都府県(約23時間)に比べ、それぞれ1.3倍、1.2倍となっている。



4 作付品種

- 中国・四国地域では、コシヒカリの作付が中心だが、高温耐性品種「きぬむすめ」、「つや姫」、「にこまる」等の作付も増加している。

令和5年産水稻の品種別作付割合



出典: 公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構調べ「令和5年産水稻の品種別作付動向について」<https://www.komenet.jp/data/jishuchousa/hinsyu/>

5 新品種の動向

- 管内では、農研機構が育成した品種の導入に加え、一部では県オリジナルの品種も育成されている。

「恋の予感」 (広島県)

- 西日本農業研究センターが育成し、平成28年に品種登録。
- 高温でも白未熟粒の発生が少なく、大粒で良食味・多収、縞葉枯病抵抗性の品種。
- 家庭用が中心で、市販は平成26年から。

「恋の予感」写真:JAグループHP“<https://life.ja-group.jp/food/okome/detail?id=166>”



「おいでまい」 (香川県)

- 香川県農業試験場が育成し、平成24年に品種登録。
- 高温耐性品種で、平成25年度から栽培が本格化。日本穀物検定協会が実施する食味ランキングで、特Aランクとしての評価実績がある。

さぬきの農産物応援団HP:“<https://www.pref.kagawa.lg.jp/seiryu/oidemai/>”



「ほしぞらまい 星空舞」 (鳥取県)

- 鳥取県農業試験場が開発し、平成30年10月に品種登録出願。令和元年からは、県外での本格販売が開始し、関西の小売店で販売されている。
- ご飯が水分を抱き込む量が多く、冷めても良食味である。

食のみやこ鳥取県HP:“<https://www.pref.tottori.lg.jp/281049.htm>”

登録商標第6182531号
(星空舞)



「ひめの凩」 (愛媛県)

- 愛媛県農業試験場が開発し、平成31年1月に品種登録出願。令和元年より一般販売を開始。
- 高温条件下においても乳白色化しにくく、玄米品質は良好であり、炊飯米は極めて食味が良く、香りが良い。

愛媛県HP:“<https://www.pref.ehime.jp/h35500/himenorin/top.html>”

美しくつよく華やかなお米
ひめの凩 
HIME NO RIN

登録商標第6162985号
(ひめの凩)